

ハンドベルで異世代間交流（観客体験型コンサートの開催）

ハンドベルチーム myuーみゆうー

コース
初動
支援

申込内容

■事業の概要

音楽を通して、人と人（特に他の世代間で）が互いに認め合い、つながりを感じられる事業。年齢を問わず全員が同じ目的を持つことで協調性・社会性を育み、達成感を共有できる仕組み作りをする。

■目的

代表者の音楽ボランティア活動経験を生かした音楽で人と人をつないだり、異世代間交流をしたりして、地域を活気づけるお手伝いがしたい。

■交付決定額 80,000 円

（事業予算 112,839 円）



◎活動の様子（平成 24 年度）



12月9日（日）、とよなか起業・チャレンジセンター（蛍池中町）にて、「クリスマスハンドベルコンサート」が行われました。

星やツリーを飾り付けた会場には、高齢者が多く集まり、クリスマスソングを中心に童謡やアニメソングが選曲され、子どもから大人まで楽しめる構成でした。

演奏は、小学生・中学生・高校生、大人の世代別チームに分かれ、ハンドベル・トーンチャイム・タッチベルを使い分け、それぞれ自分の担当の音を鳴らします。曲によって使用する楽器が違うので、準備がたいへんです。

コンサートの途中、小学生が観客ひとりひとりにハンドベルを手渡し始めました。小さな子どもでも簡単に美しい音となるハンドベルは、音階をつくり、会場中にクリスマス曲「ジングルベル」が鳴り響きました。実際にベルを握り、演奏者となった観客には一体感がうまれ笑顔にあふれていました。

「毎週の練習は、小学生が中心となって練習に励みました。また、友だちへのコンサート参加を呼びかけてもらうなど、活動を多くの人に知ってもらえるよう心がけました。」と、代表の吉田寛子さんは助成を受けていることの重要性を話されました。団体は高齢者施設や地域イベントなどでも演奏を行っており、違う世代との交流から、子どもたちの社会性を育てる機会をつくっているようです。



◎リンク

[▼平成 23 年度助成事業『人が！音が！ハンド（手）でつながる音楽事業 小学生のドキドキ、わくわくハンドベル講座』の活動紹介](#)

活動紹介へ
もどる